

それでも私は生きてゆく

ほぼ五年ぶりに枯れ葉剤被害児童の映像をリニエ
 トアルする事が出来ました。今回の機会を与えて頂
 いた事に、まず感謝申し上げます。久しぶりに訪れ
 たベトナムで私がまず驚いたのは、街の変貌ぶり
 でした。殊に首都のハノイ：以前に比べ、ホアンキエ
 ム湖の周りには高層の建物が増え、旅行者が喜びそ
 うなおしゃれなレストランやバーが入り、良くも悪
 くも資本主義的な印象が強くなっていました。古都
 から一大観光都市へ：近代化へと邁進するベトナム
 という国の勢いが、ビンビンと伝わってきます。し
 かしその一方で、街のそこかしこに残っていた戦争
 の臭いは薄れてしまったような気がします。そして
 人々の表情からも、戦争の影を感じる事はもはやあ
 りませんでした。「これはきつと良い事なのだろう」
 ……とことなく違和感を覚える自分に対し、私はそう
 呟いていました。そう、いつまでも戦争の傷を引き
 ずりながら生きて行く事が幸福なはずありません。
 「しかし」：再び違和感が込み上げてきます。そんな
 に簡単に、あの戦争を過去のものにしてしまつて良
 いのでしょうか？ 街を破壊し尽くされ、枯れ葉剤
 で身体をボロボロにされたあの記憶を、あっさり
 歴史の彼方へと追いやつてしまつて良いものでし
 ょうか？ それともこれは、部外者の身勝手な思
 い入れに過ぎないのでしょうか？ 私の眼には、好調な
 経済の陰で、ベトナムの人々の間で急速に、戦争の
 記憶が風化し始めていくように感じられました。し
 かし戦争終結後に残された課題は今尚、何一つ解決
 していません。アメリカが行うべき補償問題：
 中でも遺伝子障害という抗いようのない悲劇に見舞
 われた枯れ葉剤被害者への救済措置は、未だ放置さ
 れたままなのです。日本人である私達が、ベトナム
 の人々が望んでもいない枯れ葉剤問題を掘り起し、
 彼等が懸命に忘れようとしている戦争の記憶を呼び
 戻そうとするのは、ある意味、傷痕をえぐる行為に
 等しいのかもしれない。「しかし」：おせっかいは
 承知の上で、繰り返し訴え続ける事がやはり、大事
 なのだと思います。あの戦争で傷付いた人々が精神
 的にも、金銭的にも、本当の意味で報われるその日
 まで…。

風化させないために

取材 構成 編集
鈴木 伊織

DVDの頒布・上映会の開催に ご協力ください

それでも私は 生きてゆく

枯れ葉剤被害児童の追跡調査記録2008



2008年度製作 48分

製作 IFCC 国際友好文化センター
JVFPF 日本ベトナム平和友好連絡会議

— どうしてそんなに悲しい顔をしているの？

— 戦争は終わった…もう終わったんだよ

いいえ、戦争は終わっていません…

それはまだ、

私達の身体の中で続いているのです

いつになったら戦争は終るの？

私達の身体の中で続く戦争は…

こんな姿で生まれて来たのは

悲しいけれど、でも…

それでも私は生きてゆく

(本編より)

製作 IFCC 国際友好文化センター
 JVFPF 日本ベトナム平和友好連絡会議
 プロデューサー 鎌田篤則 (IFCC)
 取材・構成・編集 鈴木伊織
 2008年度製作48分 ￥4,000 (税込・送料別)

●ご注文の受付・上映会のご相談は●
 IFCC 国際友好文化センター
 東京都新宿区山吹町3-3-3 辻ビル405
 TEL: 03-3268-4387 / FAX: 03-3268-6079
 MAIL: info@ifcc.jp